

## 触媒誌 特別企画執筆応募要領

若手による情報発信企画：「とびたて若き触媒の研究者たち」執筆者募集

2021/06/01

触媒誌編集委員会

触媒化学の将来は、若い世代の意欲的な研究によって創られていきます。そこで、本特別企画では、若手研究者に自らの研究に関する執筆を自推の形で応募いただき、触媒学会の基幹的な出版物である触媒誌の特別企画として執筆原稿を掲載いたします。主に依頼原稿によって構成される通常の触媒誌の記事と異なり、若い世代の研究者に研究の将来構想、研究に関する夢や想いなどを記事にさせていただきたいと思っております。本企画によって、触媒誌が学会発表とは異なる形で若手研究者の情報発信の場となり、次代の触媒化学を担う研究や研究者間の議論の活性化に資することを期待しております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

- テーマ 触媒化学に関連する自らの意欲的な研究に関する記事
- 応募部門
  - ①30 歳以上の部
  - ②30 歳未満の部
- 応募資格
  - ① 30 歳以上の部 35 歳程度までの、触媒学会学生会員、個人会員<sup>注1)</sup>および団体会員。ただし、教授相当の職にあるものは不可。原則、単名での応募<sup>注2)</sup>。企業からの応募の場合、3 名以内の連名での応募、新規技術に限定せず工業化、権利化されている技術に関する応募も可とするが、筆頭著者は 35 歳程度までであること。
  - ② 30 歳未満の部 博士後期課程在学中または博士号取得済みの 30 歳未満(2021 年 4 月 1 日現在)の触媒学会学生会員、個人会員<sup>注3)</sup>および団体会員。原則、単名での応募<sup>注2)</sup>。

注 1) 非会員でも応募前に入会すれば応募可能。なお、2016 年度の触媒誌若手論文公募企画において執筆した応募者は、その際の執筆内容とは異なる内容、テーマで提案をすること。

注 2) 大学、高専、公的研究機関などからの応募は、原則単名での応募とする。ただし、企業からの応募の場合、3 名以内の連名での応募も可能とする。

注 3) 非会員でも応募前に入会すれば応募可能。なお、学生の投稿にあたっては、あらかじめ指導教員の承認を得た上で、応募用紙の「指導教員の承認確認」欄に必要事項を記入のこと。

- 応募締切：締切以降は受理できませんのでご注意ください。
- ①30 歳以上の部                    2021 年 9 月 30 日（木）正午
- ②30 歳未満の部                    2021 年 10 月 29 日（金）正午
- 執筆者選出  
可能な限り多くの応募者による執筆を予定しておりますが、編集の都合上、執筆者を選出させていただく可能性があることをご了解ください。応募用紙に記載いただく研究概要および研究の将来構想または研究に関する夢や想いを触媒誌編集委員会による執筆者選出の参考にさせていただきます。
- 執筆者選出結果の連絡 本委員会より執筆を依頼する応募者に連絡いたします。
- 記事頁数                            4 頁程度
- 記事執筆依頼                    2022 年 1 月 31 日～2022 年 3 月 31 日の予定
- 執筆期間                           執筆依頼より約 3 ヶ月（執筆依頼時に締切を連絡いたします）
- 記事および応募用紙の言語      日本語または英語
- 記事掲載号                        触媒誌 64-4,5 号（2022 年 8, 10 月発行分）を本企画の特集号とし、執筆された記事を①30 歳以上の部、②30 歳未満の部、の順に掲載予定。
- 応募方法                           応募用紙を <https://catsj.jp/editorial> より入手し、記事内容の要旨及び必要事項をご記入の上、E-mail にてご応募ください。  
なお、E-mail のタイトルを「触媒誌特別企画応募」として、応募内容に関連する論文または学会発表要旨の PDF ファイルを応募用紙とともに送付してください。
- 応募先                              触媒誌特別企画事務局  
E-mail: [tobitate\\_ml@catsj.sakura.ne.jp](mailto:tobitate_ml@catsj.sakura.ne.jp)
- 注意事項  
・他の雑誌で既に記載された内容を投稿する場合等、投稿された原稿の内容が第三者の了解を必要とする判断される場合、および引用の許諾等が必要な場合、それらの手続きはあらかじめ著者の責任において行い、図表を転載する場合は原則として投稿時に許諾の写しの添付をお願いいたします。  
・企業、民間財団、及び政府からの資金提供や援助を受けて行われた研究内容を投稿する場合は、著者の責任においてその提供元の下承を得てください。  
・本誌に掲載された記事の著作権については、「著作権について」をご参照ください (<https://catsj.jp/jnl/manual/copyright>)。

以上